

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○柔軟で多様な学び のシステムを活か した教育活動を推 進する。 ○学ぶ大切さと、学 ぶ楽しさを経験さ せる。	①課程間併修等の多様 な学びのシステムの 有効的な活用を目指 す。 ②課程間で連携しなが ら、1人1台端末の 利活用を促進し、学 ぶ大切さと、学ぶ樂 しさを経験させる授 業を研究する。	①課程間併修等の多様 な学びのシステムの有効 的な活用について検討 する。 ②課程を超えて、端末の 利活用方法について研 究・報告を行い、情報 共有を行うことにより よい授業づくりを目指 す。	①課程間併修等の多様な 学びのシステムの有効的な 活用ができたか。 ②各課程の授業研究の取り 組みを共有し、授業改善 に取り組むことができた か。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	○誰もが自分らしく 過ごせる安全・安 心な学習環境を実 現する。 ○生徒の主体的な活 動を充実させ、協 働する力と自己肯 定感を養う。	①安全・安心な学校生活 を目指すと同時に、教 育相談と支援体制の充 実を図る。 ②命を大切にする意識を 高める。 ③学校行事等を通し て、他者と協働する 姿勢や社会性を育 み、生徒一人ひとり の自己肯定感を養 う。	①各年次での生徒情報共 有を定期的に行い、学 校生活支援チームと連 携して、トラブルの未 然防止に努める。 ②他者を尊重し、歩み寄 ることでお互いの理解 を深める機会を作る。 ③生徒会役員や各種委員 会の委員が中心となっ て各行事を企画・運営 し、生徒一人ひとりの 主体的な活動を実現す る。	①年次で共有した生徒情報 に対して、年次とチーム が共有して適切に対処す ることができたか。 ②お互いを知る場面や、同 じ価値観を共有するよう な機会を設けることができ たか。 ③各行事等に、生徒会役員 や委員会の委員が中心と なって企画や運営に積極 的に関わることができた か。また、その結果、生 徒一人ひとりが主体的な 活動を実現できたか。					
3	進路指導・支援	○高校生活の意義を 明確化し、キャリ アを適切に形成し ていくための支援 を行う。	①三課程共同で複雑化 する進路指導におけ る課題の発見と集 約、課題解決方法を 策定する。	①多様な課題を抱える生 徒に対応するため、各 課程間での情報共有 や、課程横断的な進路 指導をする。	①就労準備支援事業所や若 者サポートステーション、職業訓練校など、各 施設の情報を職員に共有 することができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		○複雑化する進路選択に対応しうる相談体制を構築し、進路希望を実現する。	②早期における自己の将来設計を通して、生徒一人一人が日々の学習や活動に意欲的に取り組めるよう支援する。	②インターンシップや校外学習、卒業生講話ガイダンスなどを通じて、職業観や勤労観を涵養し、生徒の希望進路の見通しを持たせる。	②テーマ研究や校外学習の授業を通して、生徒の職業観や勤労観を養うことができたか。					
4	地域等との協働	○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域と連携した教育活動を推進する。	①地域貢献活動を推進し、地域への情報発信を行うとともに、地域との相互理解を深める。	①クリーンウォーク等の地域貢献活動を通して、地域と連携するとともに、地域へ学校の教育活動を発信する。	①クリーンウォーク等、地域連携活動を実施し、地域に学校の教育活動を発信できたか、またその活動により地域と連携できたか。					
		○学校の魅力・特色の校外への情報発信を推進する。	②定時制の魅力や特色を効果的に発信する。	②ホームページや学校紹介動画を更新し、説明会を充実させることで、魅力の発信に努める。	②情報発信を効果的に行い、本校の特色・魅力を十分に発信できたか。					
5	学校管理 学校運営	○生徒が安全・安心に学校生活を送れるように教育環境を整備する。	①防災に関するマニュアルの点検・見直しを行って、地域と協働した防災活動を推進する。	①防災及び危機管理マニュアルの策定及び見直しを図るとともに、厚木市・近隣自治会と連携・協議して地域防災活動を推進する。	①防災及び危機管理マニュアルの策定及び見直しは進んだか。地域や自治会との地域防災活動との連携は進んだか。					
		○教員の働き方改革をさらに進め、教育活動の充実につなげる。	②学校のミッションを踏まえつつ、働きやすさと働きがいの両立をめざす。	②衛生委員会等の活動の機会を通し、職場環境の整理及び改善に努める。	②職員の働きやすさが向上し、業務を効率的に遂行する一助となったか。					
			③③衛生委員会の定期的な活動と、職場環境改善シートを活用し、働きやすい職場環境づくりを推進する。	③衛生委員会の定期的な活動と、業務改善要望シートが効果的に活用され、職場環境が改善されたか。						